

景況調査

(平成29年7月～平成29年9月期)である。

平成29年7月～9月期の守山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成29年7月～9月期の調査結果では、業況は前回調査より数値が上昇したものの、売上高、採算、資金繰りの3指標は低下した。

〈業況〉

業況DIは▲6.5で前回調査の▲9.7から3.2ポイント上昇した。業種別では、小売業▲29.4(前回調査比▲12.7)、製造業16.7(前回調査比+16.7)、建設業▲9.1(前回調査比▲27.3)、サービス業0.0(前回調査比+17.6)、卸売業0.0(前回調査比+40.0)と製造業、サービス業、卸売業が上昇した。

10月～12月期見通しは全体で0.0であり、上昇の見込

〈売上高〉

売上高DIは▲8.1で前回調査より3.3ポイント低下した。業種別では、小売業▲23.5(前回調査比▲6.8)、製造業33.3(前回調査比+8.3)、建設業▲9.1(前回調査比▲9.1)、サービス業▲17.6(前回調査比▲11.7)、卸売業▲20.0(前回調査比+20.0)であり、製造業、卸売業が上昇しその他の業種は低下した。

10月～12月期見通しは全体で3.2となっており、上昇の見込である。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲17.7で前回調査より4.8ポイント低下した。業種別では、小売業▲35.3(前回調査比▲18.6)、製造業8.3(前回調査

比+16.6)、建設業▲9.1(前回調査比±0.0)、サービス業▲29.4(前回調査比▲11.8)、卸売業0.0(前回調査比±0.0)で製造業が上昇し、建設業、卸売業が横ばい、他の2業種は低下した。
10月～12月期見通しは全体で▲4.8であり上昇の見通しである。

〈資金繰り〉

資金繰りDIは▲21.1で前回調査から17.7ポイント低下した。業種別では小売業▲29.4(前回調査比▲18.3)、製造業0.0(前回調査比▲9.1)、建設業▲36.4(前回調査比▲45.5)、サービス業▲21.4(前回調査比▲6.0)、卸売業0.0(前回調査比±0.0)であった。卸売業は横ばい、他の4業種は低下した。

10月～12月期見通しは全体で0.0であり、今回調査実績から上昇している。

